

NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

第 21 回全国の集い in 北海道 2015 企画紹介文

企画名	
地域で暮らす人を支える相互理解 Let's 地域ケア会議 ～おしえる・ささえる・つたえる～	
開催日時	2015 年 10 月 12 日 月曜日・祝日 午前 9:00～
対象者（対象とする職種や参加いただきたい方）	
地域に住む方全てが対象です。地域の方々、医療、保健、福祉、介護の専門職の方など。支えられたり、支えたりしている皆様のご参加をお待ちしております。	
企画概要／	
（企画概要）	
1. 構成：①基調講演 ②デモ「地域ケア会議」 ③シンポジウム ④会場とのセッション	
2. 出演者	
・基調講演：在宅診療でご活躍の坂本医院 坂本仁先生に担当いただきます。	
・座長：地域での活動経験豊かなNPO法人シーズネット奥田龍人氏に担当していただきます。	
・シンポジスト：村上あゆみ氏（十勝てんむすの会、介護福祉士）、岩永輝明氏（ライフフィットデイリはびる作業療法士）、丸尾美佐氏（津別町包括支援センター、保健師）、西島智恵氏（登別市地域包括支援センター、主任ケアマネ）、大島蓉子氏（町会福祉部長）	
* 皆さん地域で活躍する実践者です。	
（企画目的）	
住み慣れた地域で住み続ける。このためには地域包括ケアシステムの構築が求められ、地域での様々な支え合いが必要となります。その中で「地域ケア会議」は他職種連携や地域のニーズ把握の手段として期待されています。しかし、開催するにあたっては悩みながら、試行錯誤を繰り返し開催していませんか？今回企画の中で「地域ケア会議」のデモ会議を行います。ケースは実際支援を行った「認知症」の方をモデルにしています。デモ会議に参加いただく方々も、実際支援に当たった方々に多く出演していただいています。ご本人の思いを受け止め、地域の中で「認知症」の方をどう支えてくか。お互いの立場や役割を理解し、各々の立場で何をどれくらい支援できるのか。「教えあい、伝え合い、そして支える。」そんな関係を作り上げていくにはどうするのか。それらを考える機会になると思います。	
デモ会議の後は、各シンポジストが地域で暮らす方を支える活動について、各々の立場で発表していただきます。中核都市や町村サイズの町での支援、地域で活動する方、支える専門職の立場からなど、日々活躍している方達の活動実践、提言など興味深い意見が聞けること請け合いです。	
お待たせしました。シンポジウムの後は会場の方とセッションです。皆さん意見を出したくて、ウズウズ、イライラしていたのではないのでしょうか。ご自分の意見を思い切り出して下さい！	
最後にこの企画に参加した後、「よし、やってみよう。」と元気が出るような企画にしたいと思っております。	